

島根県におけるシロガシラ *Pycnonotus sinensis* の観察記録録

安食 一歩*

The record of Light-vented Bulbul *Pycnonotus sinensis* at Shimane prefecture

Kazuho Anjiki

シロガシラ *Pycnonotus sinensis* は東アジアに生息するスズメ目ヒヨドリ科の小鳥で、日本では南西諸島に生息する鳥とされており、本州で記録されることは稀である(真木ほか2014)。2021年5月6日、島根県出雲市において本種1羽を観察した(図1)。島根県において本種の記録は過去2例のみであり(秦, 2021a; 2021b)、貴重な記録であると考えられるため報告する。

観察されたのは島根県出雲市大社町、標高約30mの地点であるが、詳細な地点は保護上の観点から記載しない。観察地点の環境は、周辺を雑木林で囲まれたマツ林の上空であった。当該個体は、ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis* とともに行動しており、群れが飛翔した時に観察した。本種の特徴は、五百澤・山形(2014)によると、眼の後ろから後頸と耳羽に白斑があり、翼と尾羽外弁は緑褐色とされている。筆者が観察した当該個体は、これらの特徴が確認されたためシロガシラと同定した。当該個体の観察は、10倍双眼鏡を用い、撮影は一眼デジタルカメラに500mmレンズを装着して行った。

本種は近年、南西諸島以外の地域での記録が増えており(植田・植村2021)、分布が変化してきていることが示唆されている。島根県内でも今後の動向に注目したい。

最後に、本報告をまとめるにあたり島根県内での記録を提供頂いた秦智秋氏、有益な助言を頂いた三瓶自然館スタッフの方々に厚くお礼申し上げる。



図1 出雲市大社町で観察されたシロガシラ。

引用文献

- 真木広造・大西敏一・五百澤日丸(2014) 決定版 日本の野鳥650 pp.532-533. 株式会社平凡社, 東京.
- 五百澤日丸・山形則男(2014) ネイチャーガイド 新訂 日本の野鳥550 山野の鳥 pp.185. 文一 総合出版, 東京.
- 秦智秋(2021a) スペキュラム第199号 p.7, 日本野鳥の会島根県支部.
- 秦智明(2021b) スペキュラム第204号 p.14, 日本野鳥の会島根県支部.
- 植田睦之・植村慎吾(2021) 全国鳥類繁殖分布調査報告 日本の鳥の今を描こう 2016-2021年 p.99. 鳥類繁殖分布調査会.

* 島根大学, 〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

Shimane University, 1060, Nishikawatsu-cho, Matsue, Shimane, 690-8504, Japan